

ひろしま住まいづくりコンクール²⁰¹⁸表彰式

～ 3月14日（木）15時より 県庁北館第一会議室 ～

このコンクールは、平成22年度の初開催から、今年で9回目を迎えます。今回は、34点の応募作品の中から、**広島県知事賞（1点）を含む9点の入賞作品**が選ばれました。

表彰式には、優秀賞以上を受賞した作品の建築主、設計者、施工者、企画立案者が出席し、都市建築技術審議官が賞状を授与するとともに、受賞作品のパネル展示も行います。御多忙のことと存じますが、ぜひ貴社の取材をいただきたく、御案内申し上げます。



[表彰式の概要]

- (1) 日時 平成31年3月14日(木) 15:00～15:30
※ 開始10分前にお越しいただければ、式の進行等について御説明いたします。
- (2) 会場 広島県庁北館2階 第一会議室
- (3) 表彰者 広島県都市建築技術審議官
- (4) 受賞者 優秀賞以上の受賞者7組（別紙参照）



昨年度の表彰式の様子

[今後の予定]

- (1) 県内23市町の公共施設等を1年間かけて巡回し、パネル作品展を開催します。
- (2) 作品集（3,300部）を、住宅関連イベントの会場等において無料配布します。

※作品紹介HP

<http://www.hiroshima-sumai.com/concours/2018/>（表彰式後に公開予定）

ひろしま住まいづくりコンクール2018について

目的 優れた住まいづくりを表彰し、住まいづくりの見本・参考事例として広く紹介することにより、本県の住環境のさらなる向上と住宅産業の活性化に寄与する。

部門 リフォーム部門・新築部門・空き家再生部門

主催 広島県・ひろしま住まいづくり支援ネットワーク

後援 中国新聞社・NHK広島放送局・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島エフエム放送・国土交通省中国地方整備局

ひろしま住まいづくりコンクール2018 表彰者一覧

| 賞 | 作品名 | 受賞者 | | | 出席 (3月6日現在) |
|-----------------|--------------|------------|----------|-------------------|----------------|
| | | 建築主 | 設計者 | 施工者 | |
| 広島県知事賞 | 向島・干汐の平屋 | 建築主 | 岡本 徹 様 | - | - |
| | | 設計者 | 濱田 昌範 様 | 株式会社濱田昌範建築設計事務所 | ○ |
| | | 施工者 | 角田 浩樹 様 | ホーム株式会社 | ○ |
| リフォーム部門 最優秀賞 | 酒蔵通りの古民家 | 建築主 | 前垣 壽宏 様 | - | ○ |
| | | 設計者 | 栄花 彰子 様 | エンロハスデザイン一級建築士事務所 | ○ |
| | | 施工者 | 中 和也 様 | 株式会社中工務店 | ○ |
| リフォーム部門 優秀賞 | すっきり暮らす家 | 建築主 | (非公表) | - | 代理出席 |
| | | 設計者 | 谷川 智明 様 | 株式会社SWITCH | ○ |
| | | 設計者 | 浅津 真吾 様 | 同上 | ○ |
| | | 施工者 | 花井 佳代 様 | 株式会社ハウジングネットワン | ○ |
| 新築部門 最優秀賞 | 窓の外と一体になる住まい | 建築主 設計者 | 迫本 崇幸 様 | 株式会社トランスデザイン | ○ |
| | | 施工者 | 森田 雄治 様 | 株式会社トランスワークス | - |
| 新築部門 優秀賞 | 因島・土生の平屋 | 建築主 | 太田 賢三郎 様 | - | - |
| | | 設計者 | 濱田 昌範 様 | 株式会社濱田昌範建築設計事務所 | ○ |
| | | 施工者 | 山口 信之 様 | 株式会社山口建設 | ○ |
| 空き家再生部門 最優秀賞 | 古き良き住まい | 建築主 | 山根 真彦 様 | - | ○ |
| | | 設計施工者 | 金堀 彰文 様 | 株式会社エコデザイン工房 | ○ |
| 空き家再生部門 優秀賞 | 思い出を引き継ぐ家 | 建築主 | (非公表) | - | 代理出席 |
| | | 設計者 | 松本 勇生 様 | 橋本建設株式会社 | ○ |
| | | 施工者 | 延平 司 様 | 同上 | ○ |
| | | 企画立案者 | 川上 将司 様 | 同上 | ○ |

【広島県知事賞 受賞作品の紹介】

(作品名) 向島・干汐の平屋 (所在地) 尾道市

東京から親元に近い広島へ移住されるご夫婦のために、海に面した敷地に新築した作品。

近隣の建物のスケールに合わせた平屋の分棟で構成されている。建物中央の玄関を介して外部へ開く空間とプライベートな空間を明快に分け、塀で敷地を囲わずに縁側を設けるなど、ご夫婦と地域とのコミュニケーションを誘発する工夫が施された作品となっている。

